

安全性データシート

改定日: 2014年2月10日

発行日: 2011年3月29日

SDS番号: 447A-3

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC I BX1 (A剤)

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

ARC ポリマー・コンポジット。

衝撃、磨耗、侵食、腐食による破損を修理してください。磨耗した部分を復元してください。穴や亀裂を塞いでください。耐磨耗性表面を生成してください。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY
860 Salem Street
Groveland, MA 01834-1507, USA
Tel.: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785
(Mon. - Fri. 8:30 - 5:00 PM EST)
Eメール (SDSに関する質問): ProductMSDSs@chesterton.com
Eメール: customer.service@chesterton.com
SDSの要求: www.chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. 欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによる分類

目の炎症 2, H319
皮膚の炎症 2, H315
皮膚の過敏症 1, H317
水生慢性 3, H412

2.1.2. 1999/45/EC法令による分類

刺激性; Xi; R36/38
R43
R52/53

2.1.3. 追加情報

H(危険)ステートメントおよびR(リスク)フレーズの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 警告

危険有害性情報: H315 皮膚刺激。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H319 強い眼刺激。
 H412 長期的影響により水生生物に有害。

使用上の注意: P273 環境への放出を避けること。
 P280 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 P333/313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P337/313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

本製品は本来室温で非反応とされる脱ブロックされたポリイソシアネートを含有しています。

本製品をその脱ブロック温度(120° C)以上に加熱すると、遊離ジイソシアネートおよびブロック剤の蒸気が生成されることがあります。

安全・健康障害の詳細はA剤、B剤とも別紙に記載してあります。

硬化過程でアルキルフェノールが分割します。コーティングが硬化する際イソシアネートの痕跡はみとめられません。

硬化物質は最終的に無害とされています。機械加工の際は、A剤、B剤の安全データシートの注意事項を参照してください。

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分'	重量%	CAS番号 / EC番号	分類 (1272/2008/ECによる)	分類 (67/548/EECによる)
酸化アルミニウム	35-50	1344-28-1 215-691-6	分類されていません*	分類されていません
反応生成物: ビスフェノール-A- (エピクロロヒドリン)	7-20	25068-38-6 500-033-5	目の炎症 2, H319 皮膚の炎症 2, H315 皮膚の過敏症 1, H317 水生慢性 2, H411	Xi; R36/38 R43 N; R51/53
ブタンジオールジグリシジルエーテル	0.1-0.9	2425-79-8 219-371-7	激しい毒性 4, H302/312/332 目の炎症 2, H319 皮膚の炎症 2, H315 皮膚の過敏症 1, H317	Xn; R20/21 Xi, R36/38 R43
シリカ(石英)	0.1-0.9	14808-60-7 238-878-4	分類されていません*	分類されていません
4-ノニルフェノール、枝分かれ	0.01-0.09	84852-15-3 284-325-5	生殖毒性 2, H361fd 激しい毒性 4, H302 皮膚腐食性 1B, H314 急性水生毒性 1, H400 水生慢性 1, H410	生殖毒性 カテゴリー 3; R62-63 Xn; R22 C; R34 N; R50/53
その他の成分: アルキルフェノールで保護されたポリイソシア ネート	1-5	未知	分類されていません	分類されていません

67/548/EECによると危険あり: Xi: 刺激性; Xn: 有害; C: 腐食性; N: 環境に危険
*職場での暴露限界のある物質。

H(危険)ステートメントおよびR(リスク)フレーズの全文: セクション16を参照。

分類基準: * 労働安全衛生法
* 毒物および劇物取締法
* GHS, 1272/2008/EC, 67/548/EEC, 99/45/EC, REACH

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸引: 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。喘息の症状が直ちに、または数時間後に起こることがあります。過激な喘息反応は生命を脅かすことがあります。

皮膚への付着: 汚染した衣服は脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。石鹸水で皮膚を洗浄してください。医師の診断を受けてください。

目に入った場合: 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合: 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

発疹やジマシンのような皮膚の過敏を起こすことがあります。

本製品をその脱ブロック温度以上に加熱すると、遊離ジイソシアネートおよびブロック剤の蒸気が生成されることがあります。本セクションにおける吸込みの危険はこうして生成される遊離ジイソシアネートおよびブロック剤に適用します。

蒸気やミストは呼吸器系に刺激を与え、鼻水、咽喉炎、咳、胸部不快感、息切れ、肺機能の低下(呼吸困難)などを起こすことがあります。

既往性の非特異性気管支過敏症のある人は低濃度でも反応し、同様な症状および喘息の発作や喘息に似た症状を示すことがあります。高濃度に晒されると気管支炎、気管支痙攣、肺水腫を生じることがあります。

ルエンザに似た症状(例: 熱、悪寒)を伴う化学性肺炎や過敏性肺炎が報告されています。こうした症状は暴露後数時間経ってから起こることがあります。こうした症状はたいいてい治まります。

過剰暴露を繰返し受けたり、いちどに大量に吸込んだりすると(加熱硬化中に生成されるオフガスの吸引を含む)、胸部圧迫感、喘鳴、息切れ、喘息の発作などにみられるように、呼吸器系に刺激を与えることがあります。こうした症状は暴露の直後あるいは数時間経ってから起こることがあります。過激な喘息反応は生命を脅かすことがあります。いったん過敏症になると、埃、冷氣、その他の刺激物に晒された場合症状が再発することがあります。過敏症は永続することがあります。

ジイソシアネートに慢性過剰暴露されると恒久的な肺損傷(肺繊維症、肺機能の低下を含む)を起こすことが報告されています。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤: 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡, あるいは 水霧

不適切消火剤: ウォータージェット

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

177° C以上の高温の場合、あるいは中身が水と混合された場合は、二酸化炭素が放出され密閉容器内で圧力が上昇し、極度の高温下破裂することがあります。火災時、熱分解や燃焼によりイソシアネート蒸気その他毒性の強いガスが生成されることがあります。加熱されたジイソシアネートに晒されると大変危険なことがあります。

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

皮膚に付着しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

適切な廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

皮膚に決して付着しないようにしてください。蒸気を吸込まないでください。

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

警告された特性(目、鼻、のどへの刺激、臭気)は吸込みによる過剰暴露の防止には適切ではありません。

使用時以外は容器の蓋を強く閉めてください。直ちに汚染した衣服を脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。

汚染された皮は靴を含め浄化することはできません。処分してください。

除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

これらのARCコンポジット類を使用する際の健康上のリスクは更に低減されています。理由は、A剤が:

- エポキシ樹脂のようなポリマーのブレンドを配合した100%純性のブロックイソシアネートの混合物を含んでいます。
- 吸入不可能なザラザラしたパテ状です。
- 通常の保存条件および使用条件で120°Cに晒されることが一切ないので、非ブロック化の危険が最小限に抑制されます。
- B剤と混合されると、120°のブロック化限界に近い発熱作用温度を発生することができません。

医学的監視:

ブロックイソシアネートを使用すると健康上のリスクは低減されますが、イソシアネート(ブロック型、非ブロック型ともに)を使用する作業者に対しては、医学的監視プログラムで支持された適切な防護用具プログラムの実行が最良の慣行です。

イソシアネート作業区域に割当てられた応募者は全員就業前に身体検査を受ける必要があります。湿疹や花粉症などの呼吸器系アレルギーの病歴があると、イソシアネート区域で就業できない理由になることがあります。成人喘息の病歴のある応募者はイソシアネート区域で就業できません。イソシアネート過敏症の病歴のある応募者は、イソシアネート区域で業務を継続することはできません。ジイソシアン酸エステルに晒される可能性のある従業員は全員、毎年総合医学的監視プログラムを受ける必要があります。イソシアネート過敏症の診断を受けた作業員はそれ以上晒されることは許されません。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

熱や湿気のない所に保管してください (10° Cから32° C、直射日光を避けること)。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
酸化アルミニウム	(吸引可能) (総塵)	2 8	(吸引可能)	1
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)	-	-	-	-
ブタンジオールジグリシジルエーテル	(吸引可能)	0.03 (上限)	-	-
シリカ(石英)	-	-	-	0.025 (吸引可能)
4-ノニルフェノール、枝分かれ	-	-	-	-
アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート	-	-	-	-

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

適切な換気をして、空気中に浮遊するイソシアネートの量を許容限界以下に抑えてください。
排気(硬化オープンのおフガスを含む)をスクラバやフィルターで洗浄して、環境汚染を低減することができます。
粉塵を生成する恐れのある硬化物に最終的に変更する必要がある場合は、粉塵の除去、低減を行ってください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護: 許容限界を超える場合は、自己収容型呼吸器(SCBA)、送気マスク(SAR)、または適切なフィルター付き呼吸用保護具(APR)を使用してください。
火災やプロセス混乱が原因で120°C以上の加熱状態になった場合は、TDIが空気中に放出される恐れがあるので、作業員は正圧空気供給マスクを使用してください。

手袋: 耐薬品性手袋(例:ニトリルゴム、ブチルゴム、ネオプレン、PVC(ポリ塩化ビニル))

目 / 顔の保護: 安全メガネ

その他: 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	ざらざらしたペースト	臭気	甘い臭い
色	青	においの閾値	未定
初留点	適応せず	20°Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	なし
揮発率%(容量比)	なし	pH	適応せず
引火点	192° C	相対密度	2.39 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	4 百万 cps @25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	データなし	水溶性	不溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	適応せず
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	適応せず

9.2. その他の情報

脱ブロック温度: 120° C. VOC (EPA 24): 0.11 lbs/gal.

セクション 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

閉塞剤とトルエンジイソシアネートは120° C以上の温度で放出されます。

10.5. 配合禁忌薬品

強鉍物酸と強塩基 および 液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド、酸、シアン化水素その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路: 吸引、皮膚や目への付着。
目、皮膚、呼吸器系に既往疾患のある作業員が晒されると、症状が悪化することがあります。

急性毒性 -

経口: 摂取すると吐き気、嘔吐、下痢などの胃腸障害を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
酸化アルミニウム	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg
エポキシ樹脂	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg
アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg

経皮:

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	致死量50(LD50), うさぎ	> 3000 mg/kg

吸引:

本製品をその脱ブロック温度以上に加熱すると、遊離ジイソシアネートおよびブロック剤の蒸気が生成されることがあります。本セクションにおける吸込みの危険はこうして生成される遊離ジイソシアネートおよびブロック剤に適用します。

蒸気やミストは呼吸器系に刺激を与え、鼻水、咽喉炎、咳、胸部不快感、息切れ、肺機能の低下(呼吸困難)などを起こすことがあります。

既往性の非特異性気管支過敏症のある人は低濃度でも反応し、同様な症状および喘息の発作や喘息に似た症状を示すことがあります。高濃度に晒されると気管支炎、気管支痙攣、肺水腫を生じることがあります。

ルエンザに似た症状(例: 熱、悪寒)を伴う化学性肺炎や過敏性肺炎が報告されています。こうした症状は暴露後数時間経ってから起こることがあります。こうした症状はたいてい治まります。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	致死濃度0(LC0), ラット, 5-8 時間	蒸気飽和レベルでの死亡なし

皮膚腐食 / 刺激:

皮膚刺激。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	皮膚の炎症, うさぎ	かすかな刺激
アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート	皮膚の炎症, うさぎ (OECD 404)	皮膚の刺激なし

重篤な目の損傷 / 刺激:

強い眼刺激。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	目の炎症, うさぎ	かすかな刺激
アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート	目の炎症, うさぎ (OECD 405)	かすかな炎症

呼吸器または皮膚の感作: 発疹やジンマシンのような皮膚の過敏を起こすことがあります。
本製品をその脱ブロック温度以上に加熱すると、遊離ジイソシアネートおよびブロック剤の蒸気が生成されることがあります。本セクションにおける吸込みの危険はこうして生成される遊離ジイソシアネートおよびブロック剤に適用します。
過剰暴露を繰返し受けたり、いちどに大量に吸込んだりすると(加熱硬化中に生成されるオフガスの吸引を含む)、胸部圧迫感、喘鳴、息切れ、喘息の発作などにみられるように、呼吸器系に刺激を与えることがあります。こうした症状は暴露の直後あるいは数時間経ってから起こることがあります。過激な喘息反応は生命を脅かすことがあります。いったん過敏症になると、埃、冷氣、その他の刺激物に晒された場合症状が再発することがあります。過敏症は永続することがあります。
本製品をその脱ブロック温度以上に加熱すると、遊離ジイソシアネートおよびブロック剤の蒸気が生成されることがあります。本セクションにおける吸込みの危険はこうして生成される遊離ジイソシアネートおよびブロック剤に適用します。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	皮膚の過敏, モルモット	過敏性
アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート	皮膚の過敏, モルモット	過敏性なし
ブタンジオールジグリシジルエーテル	皮膚の過敏, モルモット	過敏性

胚細胞突然変異原性: エポキシ樹脂, アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート, ブタンジオールジグリシジルエーテル: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性: 国際がん研究機関(IARC)と国家毒性プログラム(NTP)は吸引シリカを発ガン性物質に分類しています。
本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。
エポキシ樹脂: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
ブタンジオールジグリシジルエーテル: データなし。

生殖毒性: エポキシ樹脂: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
ブタンジオールジグリシジルエーテル: データなし。

STOT - 単回暴露: エポキシ樹脂, ブタンジオールジグリシジルエーテル: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 反復暴露: エポキシ樹脂, ブタンジオールジグリシジルエーテル: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
ジイソシアネートに慢性過剰暴露されると恒久的な肺損傷(肺繊維症、肺機能の低下を含む)を起こすことが報告されています。
呼吸可能な遊離シリカを繰返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。
珪肺症(遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある)が生じることがあります。
本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

その他の情報: 既知の影響なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

水生生物に有害です。また水生環境に長期にわたり悪影響を与える恐れがあります。

12.2. 持続性・分解性

未反応成分(A剤とB剤)が誤って環境に放出されると土地や水の汚染の原因となることがあります。エポキシ樹脂, ブタンジオールジグリシジルエーテル, アルキルフェノールで保護されたポリイソシアネート: なかなか生分解しません。

12.3. 生物蓄積の可能性

エポキシ樹脂, 4-ニルフェノール、枝分かれ: 魚や水生生物内で生体内蓄積することがあります。

12.4. 土壌中の移動性

ペースト、非水溶。エポキシ樹脂: 地面にしみ込むと流動するので、地下水を汚染することがあります。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

樹脂と硬化剤を混合してください。硬化物質は最終的に無害とされています。密封した容器を正式に認可された設備で埋立処理してください。反応を起こしていない成分は特殊廃棄物です (EC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定)。適切な設備で焼却することができます。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	適応せず
TDG:	適応せず
US DOT:	適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	無害、規制なし
TDG:	無害、規制なし
US DOT:	無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	適応せず
TDG:	適応せず
US DOT:	適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO:	適応せず
TDG:	適応せず
US DOT:	適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令

15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: なし.

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH:米国産業衛生専門家会議
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADP:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE:急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)
 GHS:世界調和システム
 ICAO:国際民間航空機関
 IMDG:国際海上危険物規定
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL:最小作用量
 NOAEL:無毒性量
 NOEL:最大無作用量
 N/A:該当せず
 PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL:許容暴露限度
 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS:安全性データシート
 STEL:短時間暴露許容濃度
 STOT:特定標的臓器毒性
 TDG:危険物輸送に関する勧告(カナダ)
 TLV:暴露限界
 US DOT:米国運輸省
 vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 欧州化学物質情報システム(ESIS)
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報
 危険物質データバンク(HSDB)
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)

欧州法規1272/2008による混合物の分類方法:

分類	分類手順
目の炎症 2, H319	算出方法
皮膚の炎症 2, H315	算出方法
皮膚の過敏症 1, H317	架橋原理「希釈」
水生慢性 3, H412	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント: H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319: 強い眼刺激。
H302/312/332: 飲込む/吸込む、または皮膚に接触すると危険です。
H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H361fd: 生殖能力に障害を与える疑いがあります。胎児に障害を与える疑いがあります。
H400: 水生生物に強い毒性。
H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期的影響により水生生物に毒性。
H412: 長期的影響により水生生物に有害。

関連するR(リスク)-フレーズ: R20/21: 吸込んだり皮膚に接触すると危険です。
R34: 火傷します。
R36/38: 目と皮膚に刺激を与えます。
R43: 皮膚に接触すると過敏に反応することがあります。
R50: 水生生物に極めて有毒です。
R51/53: 水生生物に有毒で、水生環境に長期にわたり悪影響を与える恐れがあります。
R62: 生殖力障害をもたらす危険があります。
R63: 胎児に害を及ぼす危険があります。

危険の絵表示名: 感嘆符

本改訂によるSDSの変更: セクション 1, 2, 3, 4.2, 5, 7, 8, 9.2, 10.6, 11, 12, 13, 15.1.2, 16.

その他の情報: なし

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。